

NO. 13

公益財団法人 山梨県アイバンク

令和4年度

アイバンクだより



ご挨拶

公益財団法人 山梨県アイバンク

理事長 石原英司



金木犀の香りに秋の深まりを感じさせる心地よい季節となりました。日頃から公益財団法人山梨県アイバンク事業に多大なご支援とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

本年4月より（公財）山梨県アイバンクの理事長を拝命し、半年になります。当財団は、オール山梨ライオンズメンバーの皆様により昭和58年に財団法人山梨県アイバンクとして設立されました。初代理事長は小宮山要二様、続く花輪孝夫様、海沼昭様、秋山詔樹様という歴代理事長のもと、角膜等の

眼球組織の移植による視覚障がい者の視力の回復に資するため、献眼及び角膜移植並びにアイバンク事業の普及推進に努めて参りました。平成23年には山梨県より公益財団法人への移行認定を受けて、現在の「（公財）山梨県アイバンク」に呼称変更し、事業活動を継続しています。

今日までにドナー登録者は10,936名を超え、献眼していただいた方は210名、移植を受け、光を取り戻された方は352名になりました。これまで多くの視覚障がい者の方々の視力回復のお手伝いことができましたことは、皆様方の善意と温かいご協力のおかげであり、この場を借りて深く感謝申し上げます。

いまだにコロナ感染症の収束が見えない中、アイバンク事業計画や啓発活動もなかなか思うように進まない現状があり、私自身何とかしなければと心を痛めている毎日です。このような状況下にあってもドナー提供を心待ちにされている人たちを想うとき、一日でも早く、角膜移植が受けられる機会が来ることを心から願ってやみません。

皆様におかれましてはドナー登録の推進と拡大にさらなるご協力をお願いし、今後も当財団へ物心両面でのご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

末筆ながら皆様のご健勝とご活躍をご祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

令和3年度は5名の方から献眼をしていただきました。

心から感謝申し上げますとともに、謹んで故人のご冥福をお祈り致します。

公益財団法人 山梨県アイバンク

〒409-3898 山梨県中央市下河東1110 山梨大学医学部内

Tel : 055-273-6776 Fax : 055-273-6857 Mail : yamanashi-eyebank@myad.jp

HP : <https://www.yamanashi-eyebank.or.jp>



山梨県アイバンク前事務局長
小松弥太郎様の献眼に寄せて

どんな景色を眺めていますか 小松様追悼記

山梨県アイバンク元事務局 中村恵子

私が小松様と初めてお会いした時は、すでにアイバンク事務局長としてご活躍されていました。振り返れば平成十二年秋、当時の事務局長であった小松様と事務局の小林様に面接していただき、その後山梨県アイバンクで勤務した十年余り、思いがけない素晴らしい時間をいただきました。

それまで家庭にいた私には、アイバンクの仕事は全て未知の世界で暗中模索でした。それでも、アイバンクの活動が角膜障害の方にとって愛の光となり、目の見えない人に光を与えることが出来るならと、小松様とイベントや各団体への角膜提供の説明・啓発活動・献眼登録活動等をさせていただきました。小松様はいつも誰かの役にたつことを念頭に活躍しておられ、献血も百数十回以上行い、厚生労働大臣からも表彰されました。

緊急連絡を受け緊迫した献眼時、ご遺族への対応において言葉につまってしまうことが多くありましたが、小松様は語弊のないよう親切にご指導下さいました。前向きで、実直で、とても温厚なお人柄の小松様からは多くのことをご教示いただきました。

小松様ご本人も献眼登録されており、ご自分が亡き後献眼が叶えられるように、ベッドの脇といつも持参している手帳の中に「献眼を希望します」と自筆で書いてあるからね、と何時も話しておられました。

この度、生前の望み通り献眼されましたが、小松様から光を与えられた方と一緒に何を眺めていますか？旅行や自然が好きな方なら、美しい景色をたくさん見せてあげて下さい。また、小松様のようにユーモアがある方なら、多くを見聞して皆を和ませ穏かにしてあげて下さい。

結びに、アイバンク関係者として海沼元理事長と小松前事務局長のお二人が、角膜障害の方に光を捧げましたことに心から敬意を表します。どうかその方々といつまでも美しいものを見続けて下さい。私はその方々を通して、どこかでお会いしているかもしれませんね。

小松様一句

シニアでもリニア乗るまで生きてやろ

無理だろうなあ〜 きっとムリムリ

小松様きっと乗れますよ…！

まだまだこの世界でたくさんの景色を見続けてください。





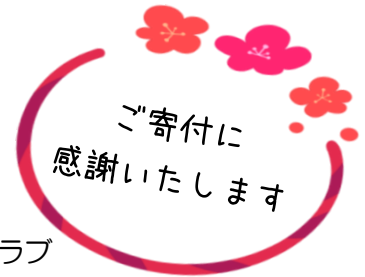
令和3年度 事業報告

眼球提供登録者数、提供者数、移植眼数

眼球提供登録者数 令和3年度 5名
開設以来累計 10,936名

眼球提供者数 令和3年度 5名
開設以来累計 210名

角膜移植眼数 令和3年度 8眼
開設以来累計 352眼



寄付金(入金順・敬称略)

甲府中央ライオンズクラブ
12R-2Z ゾーンチャリティーゴルフ大会
石原工業(株)
南アルプスライオンズクラブ
甲府東ライオンズクラブ
上野原ライオンズクラブ
甲府北ライオンズクラブ
新津辰夫
市川大門三珠ライオンズクラブ
(有)高山電設
折武(株)
内田眼科医院
海沼脩子
塚原康司
(有)インテリアさいき
宮坂清
山田栄一
アルプスワイン(株)
七洋商事(有)
千野眼科医院
竜王ライオンズクラブ
ライオンズクラブオール山梨
甲斐北ライオンズクラブ
甲府舞鶴ライオンズクラブ

北杜ライオンズクラブ
甲府ライオンズクラブ
塩山ライオンズクラブ
甲府東ライオンズクラブ
身延ライオンズクラブ

協力会員(入金順・敬称略)

《個人》

榎形 昭平 中村 照美
宮坂 清 加々美 富明

《団体》

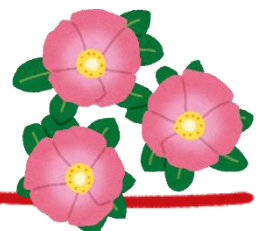
(株)菱和園

その他の寄付

- ・イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン
事務用品に交換してご寄付いただきました

啓発活動

- ・県民の日合同慰霊祭
- ・県内病院、警察署、高校にポスター配布
- ・各市町村成人式にてパンフレット送付





令和3年度 正味財産増減計算書



単位：円

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①基本財産運用益	2,333,070	1,267,891	1,065,179
②事業収益	1,200,000	150,000	1,050,000
角膜幹旋手数料	(1,200,000)	(150,000)	(1,050,000)
③寄付金	1,518,000	1,927,000	△ 409,000
④補助金	570,150	512,150	58,000
山梨県補助金	(500,000)	(500,000)	(0)
その他の補助金	(70,150)	(12,150)	(58,000)
⑤協力会費収入	45,000	41,000	4,000
⑥雑収入	12	21	△ 9
運用財産利息	(12)	(21)	(△ 9)
経常収益計	5,666,232	3,898,062	1,768,170
(2) 経常費用			
①事業費	4,166,859	3,367,663	799,196
②管理費	1,536,671	1,018,093	518,578
経常費用計	5,703,530	4,385,756	1,317,774
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 37,298	△ 487,694	450,396
評価損益等計	△ 91,498	0	△ 91,498
当期経常増減額	△ 128,796	△ 487,694	358,898
2 経常外増減の部			
過年度一般正味振替取消額	1,464,737		
当期一般正味財産増減額	△ 1,593,533	△ 487,694	△ 2,081,227
一般正味財産期首残高	2,126,612	2,614,306	△ 487,694
一般正味財産期末残高	533,079	2,126,612	△ 1,593,533
II 指定正味財産増減の部			
①基本財産運用益	868,333	1,267,891	△ 399,558
②過年度一般正味振替取消額	1,464,737	0	1,464,737
③一般正味財産への振替額	2,333,070	1,267,891	1,065,179
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	58,975,000	58,975,000	0
指定正味財産期末残高	58,975,000	58,975,000	0
III 正味財産期末残高	59,508,079	61,101,612	△ 1,593,533



令和3年度活動報告

厚生労働大臣感謝状伝達式

令和3年4月13日、山梨県庁にて、山梨県福祉保健部長から山梨県アイバンク常務理事・加々美富明へ、臓器移植対策の推進のための活動歴が10年以上であり、国民意識の啓発に顕著な功績のあった者として、厚生労働大臣感謝状が贈呈されました。



県民の日 合同慰霊祭

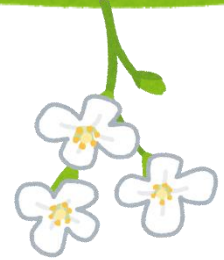
令和3年11月20日、甲府市小瀬スポーツ公園飛翔像前にて、ライオンズクラブオール山梨主催「県民の日合同慰霊祭」が行われました。県内ライオンズクラブや(公財)山梨県臓器移植推進財団、当アイバンクの関係者が集まり、献眼者・献腎者の御霊に感謝と慰霊のお祈りを送りました。

また、令和元年度の慰霊祭以降、新たにご献眼いただいた方のお名前を献眼者芳名簿に加え、飛翔像に納め、献花を行いました。今後も献眼者・献腎者の皆様の御霊が安らかであることを心よりお祈りいたします。





意思表示のお願い



角膜提供について、ご家族と話し合ってみませんか？

YESでもNOでも、お互いの意思を共有することが大切です。

意思表示があればご家族の迷いや負担を減らし、意思決定をする際の助けとなります。

角膜の提供を希望される方の意思を最大限に尊重し、実現を図るためには、ご家族の理解と協力が必要不可欠です。

感染症の罹患がなく、角膜が透明であれば、視力や年齢等に関係なく誰でも提供することができます。ご家族の同意があれば、事前の登録がなくても提供はできますが、スムーズなあっせんのため、あらかじめご登録をお願いいたします。保険証等の意思表示欄にご記入いただくか、山梨県アイバンクへご連絡ください。角膜提供登録証を送付いたします。

※ご登録後に提供の意思が無くなった場合は、直ちに登録を取り消すことができます。



献眼に関するお願い

提供される角膜は、心停止から12時間内に摘出されることが望ましいとされています。

献眼を希望される方が亡くなった場合、ご家族や医療従事者の皆様は、夜間・休日に関わらずすぐにご連絡ください。

また、献眼時スムーズに対応するため、看取り期・終末期の方で献眼の意思が確認できた場合も、事前にご連絡ください。その時点で献眼が可能かどうか問診をいたします。

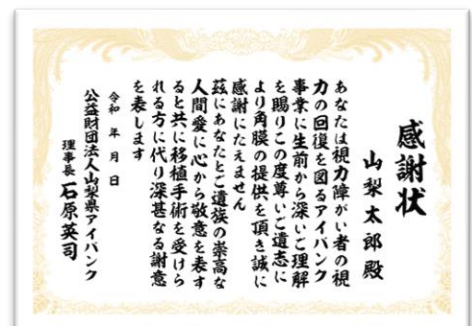
ご協力をお願いいたします。



献眼者への感謝状贈呈

山梨県アイバンクでは、角膜を提供していただいた方に対し、当アイバンク理事長より感謝状を贈呈しています。

厚生労働大臣からも感謝状が贈呈されますので、当アイバンクを経由してお届けします。





各団体関係者の皆様へ



新型コロナウイルスの影響により、県内イベントの中止が相次ぎ、啓発活動の機会が失われております。令和元年度は約 20,000 枚のパンフレットをイベント等で配付していましたが、令和 2 年度・令和 3 年度は約 8,300 枚の配布に留まっております。

各団体において、パンフレット等の設置・配布機会がございましたら、ぜひ山梨県アイバンク事務局までご連絡ください。事務局では、パンフレットの他に献眼登録申込はがき付きパンフレットやポケットティッシュもご用意できます。

ご協力をお願いいたします。



アイバンクポスターについて

毎年、著名人に無償でアイバンク啓発ポスターにご出演いただいております。

令和 4 年度はフリーアナウンサーの有働 由美子さんです。当アイバンク事務局までご連絡いただければ、無料でポスターを送付いたします。

施設内でのポスター掲示にご協力をお願いいたします。

※昨年度のポスターは破棄いただきますようお願いいたします。



↓↓ポスターについてはこちらから↓↓

<https://j-eyebank.or.jp/about/poster.php>



日本アイバンク協会 ポスター





ご支援のお願い



平素より、山梨県のアイバンク事業にご支援ご協力賜りまして、誠にありがとうございます。

山梨県アイバンクは皆様の寄付をもとに活動しています。

同封の「払込取扱票」はご寄付や協力会員としてご協力いただいている方、今後新たに協力会員になって下さる方、ご寄付を送金して下さる方々にお使いいただきたく、添付させていただきました。

ご支援いただきました方々のお名前は、「アイバンクだより」等に掲載させていただきたく存じますので、匿名をご希望の方はその旨お知らせいただきますよう、お願い申し上げます。

皆様のご支援、何卒よろしくお願い申し上げます。

・ 協力会員

法人 1口 5,000円より

個人 1口 1,000円より

・ 寄付金

金額は問いません